

徳島県南部にて、里山林の生物多様性評価等の研究に着手

～(株)三井共同コンサルタント、(株)四国の右下木の会社と共同で

樵木林業の生物多様性回復への寄与を評価～

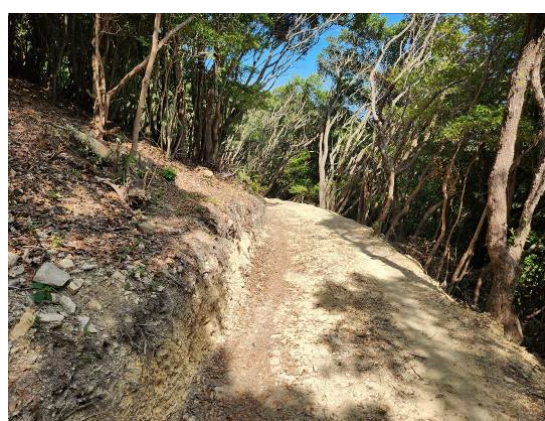
<お知らせ内容>

この度、一般社団法人日本森林技術協会（本部：東京都千代田区 理事長：小島孝文）は、株式会社四国右下木の会社（本社：徳島県海部郡美波町 代表取締役：吉田基晴）と、三井共同建設コンサルタント株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：中野宇助）と共同で、徳島県海部地方の伝統的な樵木林業※（こりきりんぎょう、広葉樹短伐期施業）が、手入れ不足のため自然の質が低下した里山林（ウバメガシ）の生物多様性の回復に有効であることを明らかにするとともに、ネイチャーポジティブ（自然再興）に向けた研究開発に着手することとなりました。各社の活動については下記URLをご参照ください。

※2017年度 日本森林学会 林業遺産登録



施業が進むウバメガシ林。左矢印は萌芽再生した切株。



施業のために作設された高密度に配置された作業道

<ポイント>

適切な施業が行われた森林は林業経営のみならず、生物多様性や獣害の拡大や土砂災害の防止、気候変動の緩和に寄与すると言われています。近年は深刻なシカ食害や、シイ・カシ林ではカシノナガキクイムシによるナラ枯れが問題となっていますが、それらも適切な施業の継続で改善していくものと考えられます。

我々、日本森林技術協会は、長年森林に関係するあらゆる技術の開発とその普及に取り組んでおり、現場での経験に基づいた多角的な視点で、施業後の森林の多様性を適切に評価してまいります。

<各社の情報>

○株式会社四国の右下木の会社 ホームページ：<https://www.treecompany.jp/>

○三井共同建設コンサルタント株式会社 ホームページ：<https://www.mccnet.co.jp/>

なお、本リリースのプロジェクトは、SDGs における下記目標への貢献を目指しています。



【本件に関する問い合わせ】

一般社団法人日本森林技術協会 事業部 森林保全第二グループ 担当：福沢朋子

電話：070-1433-6414 E-mail：tfukuzawa@jafta.or.jp